

第 6 8 回「電波の日」総務大臣表彰

1 個人：3 件

(敬称略：五十音順)

氏 名	功績の概要
さ さ き ゆうぞう 佐々木 雄三 一般社団法人 日本コミュニティ放送協会 相談役	多年にわたり、一般社団法人日本コミュニティ放送協会の役員を歴任し、コミュニティ放送の全国普及及び災害発生時の活用に尽力するなど、我が国のコミュニティ放送の発展に多大な貢献をした。
まつざき ようこ 松崎 陽子 仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科 教授	多年にわたり、電波監理審議会委員として、電波及び放送の規律に関する重要事項の審議に尽力するなど、我が国の電波・放送行政の発展に多大な貢献をした。
わざき のぶや 和崎 信哉 一般社団法人 衛星放送協会 会長	多年にわたり、一般社団法人衛星放送協会の会長を務め、特に新 4 K 8 K 衛星放送の実現や東経 1 1 0 度 C S 放送の高画質化を推進するなど、衛星放送の発展に多大な貢献をした。

2 団体：2 件

(敬称略：五十音順)

団体名	功績の概要
一般社団法人 全国自動車無線連合会 (会長：坂本 <small>さかもと</small> 克己 <small>かつみ</small>)	タクシー無線のデジタル化を活用した A I 予測配車の実証実験、多言語音声翻訳システムの実証実験、アプリ配車、カード決済機能の活用等を行うなど、タクシーの利便性向上に資する電波の有効利用に多大な貢献をした。
無線 L A N ビジネス推進連絡会 (会長：北條 <small>ほうじょう</small> 博史 <small>ひろし</small>)	平成 28 年熊本地震、平成 29 年 7 月九州北部豪雨、平成 30 年 1 月草津白根山噴火等において公衆無線 L A N を無料で開放する仕組みを構築するなど、大規模災害時の通信の確保に多大な貢献をした。